イエス様の三大試練

『イエスの路程は、すなわち信徒たちが歩まなければならない路程であるので、信徒たちはイエスが荒野で受けた三大試練を、個人的に、家庭的に、国家的に、世界的に乗り越えなければならない。』原理講論ｐ539

（1）　サタンはいつ試練してきたのか

「さて、イエスは御霊によって荒野に導かれた。悪魔に試みられるためである。そして、四十日四十夜、断食をし、そののち空腹になられた。すると試みる者がきて言った、『もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように命じてごらんなさい』」（マタイによる福音書4章1節～3節）

サタンは40日断食が終わってからイエス様を試練してきた

↓

食べてはいけない断食期間中に試練してきたのではなく、
条件期間が終わって食べてもよい時に試練してきた。

↓

み言を中心に本当に価値転換（み言＞肉身の欲求）が成されていなければ
試練に勝てないということ。

↓

サタンの試練は条件期間を終えたあとを狙ってやって来る。

（2）　アダム・エバに対するサタンの誘惑とイエス様の３大試練

①第１の試練

・アダム・エバに対するサタンの誘惑の言葉１

「園にあるどの木からも取って食べるなと、ほんとうに神が言われたのですか」

（創世記3章1節口語訳）

→戒めは神からきたものではないと相対化することでみ言の絶対性を否定。

・イエス様に対するサタンの第1の試練

「もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように命じてごらんなさい」

（マタイによる福音書4章3節）

→第一祝福（個性完成：み言を中心に人格完成）を否定。

・イエス様の返答1

「『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』と書いてある」（マタイの福音書4章4節）

→申命記8章3節（「人はパンだけでは生きず、人は主の口から出るすべてのことばによって生きることをあなたに知らせるためであった」）のみ言を引用。

※このとき洗礼ヨハネの立場にいたイエス様は、自分の言葉ではなく聖書の言葉を引用することでサタンを退けた。サタンはみ言以外のものには絶対に屈服しないということ。

教訓　み言を絶対信仰しなければならない

②第2の試練

・アダム・エバに対するサタンの誘惑の言葉2

「あなたがたは決して死ぬことはないでしょう」

（創世記3章4節口語訳）

→神様のみ言を否定して相対化することで、神様と神様の祝福の絶対性を否定。

・イエス様に対するサタンの第2の試練

「もしあなたが神の子であるなら、下へ飛びおりてごらんなさい。『神はあなたのために御使たちにお命じになると、あなたの足が石に打ちつけられないように、彼らはあなたを手でささえるであろう』と書いてありますから」（マタイによる福音書4章6節）

→詩篇91章11～12節（「これは主があなたのために天使たちに命じて、あなたの歩むすべての道で／あなたを守らせられるからである。彼らはその手で、あなたをささえ、石に足を打ちつけることのないようにする」）のみ言を利用。第二祝福（子女繁殖：神様の祝福による家庭完成）を否定。

※サタンもみ言を引用してきたことに注目。

・イエス様の返答2

「『主なるあなたの神を試みてはならない』とまた書いてある」

（マタイによる福音書4章7節）

→申命記6章16節（「あなたがたの神、主を試みてはならない」）のみ言を引用

教訓　神様と神様の祝福を絶対信仰しなければならない

③第3の試練

・アダム・エバに対するサタンの誘惑の言葉3

「それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです」（創世記3章5節口語訳）」

→唯一の創造主である神様の立場を相対化させることによって、神様の絶対性を否定

・イエス様に対するサタンの第3の試練

「もしあなたが、ひれ伏してわたしを拝むなら、これらのものを皆あなたにあげましょう」

（マタイによる福音書4章9節）

→第3祝福（万物主管：神様の愛による主管性の完成）を否定し、自分が創造主の立場に立とうとする。

・イエス様の返答3

「サタンよ、退け。『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある」

（マタイによる福音書4章10節）

→申命記6章13～14節（「あなたの神、主を恐れてこれに仕え、その名をさして誓わなければならない。あなたがたは他の神々すなわち周囲の民の神々に従ってはならない」）のみ言を引用。

教訓　神様にのみ侍らなければならない

（3）　まとめ

1.サタンは条件期間を終えたあとも試練してくる。

2.イエス様は、サタンの試練に対して自分の言葉ではなく、すべてみ言で答えられた。

3.第２の試練では、サタンもまたみ言を利用した。

4.み言で答えることによって、サタンは反論できずに退いた。

↓

み言を絶対信仰し、み言でサタンを分立し、み言でみ旨を成就する